愛知県三河青い鳥医療療育センター広報

にじいろ

第10号

２０２２年５月発行

天皇陛下がお手播きされたアベマキの苗が三河青い鳥に

天皇皇后両陛下は、令和元年６月、即位後初の地方訪問として愛知県にお越しになり、全国植樹祭に出席され、当センターにも立ち寄られました。

天皇陛下が全国植樹祭でお手播きされた種から育った苗のうちの１本が、このたび、当センターに贈られ、みんなで植樹をしました。

（３ページに続く）

～目次～

・天皇陛下お手播き苗植樹式　１・３Ｐ
・巻頭言　２Ｐ
・ビシエド選手と交流　３Ｐ
・三河青い鳥医療的ケア児支援センター　３Ｐ
・病棟便り　／　新規採用職員研修　４・５Ｐ
・専門職の話　「教えて！　被ばくの話」　６Ｐ
・医師自己紹介　／　医療功労賞受賞　７Ｐ
・外来受診について　８Ｐ

愛知県三河青い鳥医療療育センターの理念・基本方針

理　　念

障害のあるお子さんと重症心身障害のある成人の方を主な対象とした愛知県東部における医療・療育センターとして、利用児・者の人権を尊重し、最良の医療を提供するとともに、多様化する福祉ニーズに的確に応えていきます。

基本方針

１　利用者へのサービスの向上

利用児・者に対する医療、療育の充実に努める。

２　地域福祉への貢献

地域における療育拠点として、各機関や行政との連携をはかり、利用児・者とその家族を支援する役割を果たしていく。

３　人材育成と明るい職場づくり

施設運営の持続的発展のため、職員に研修会等への参加の機会を与え、資質の向上をめざす。また、各職員が業務や運営についての意見が述べやすい環境づくりに努める。

４　財政基盤の安定化

安定した財政基盤の確立のため、収入財源の確保に努め、効率的な運営を行う。

コロナ禍の療育

センター長補佐　小児科　越知信彦

リハビリ室のボールプールから子ども達のはしゃぎ声が聞こえなくなり、面会を楽しみにされていた病棟の利用者さん、その御家族の笑顔がまばらになって、既に２年が経過しました。この間猛威を振るった新型コロナウイルス感染症はオミクロン株の流行に至って、その感染性は以前にもまして強く、最大の拡大期に入った感は否めません。

コロナ禍の世界は、これまで自由に会話し、触合ったりしていた人々のごく当たり前の日常に、大きな制約を及ぼしてきました。別な見方をすると、ある意味、人類にとって人間同士の繋がりを、そして社会の意味を再考させる機会を与えたのかもしれません。

当センターは、現在まで十分な感染対策をとりながら、幸いにも外来を閉鎖する事無く、リハビリも継続してきました。もちろん皆様がマスクの着用やソーシャルディスタンス等に日々留意されておられ、更にセンター利用時には、検温や手指消毒等などの御協力を頂いての事であり、改めてお礼を申し上げたいと思います。

我々の施設には障がいのある方への療育という大きなテーマがあり、これまでも受診される方達の様々な障がい特性に合わせて、支援の方法を検討し、提供してきました。特に言葉の遅れのあるお子さんに言語訓練を、関わりの苦手なお子さんには作業や心理リハビリも行ってきました。残念ながら今では目元以外はマスクで覆われて、口型をみせる事も困難です。もちろん日常における様々な表情や関わりによるコミュニケーションの制限は、それを苦手とする障がいの方への支援方法に新たな課題を提示しています。医療に留まらず、思い出に残る行事さえもコロナに奪われた保育や教育の現場では、子ども達との関わりや活動にこれまでとは違った対応が必要とされたはずです。

発達をみてきた医師としてこの２年間の社会情勢の変化は、乳幼児期そして学童期の子ども達におけるソーシャルスキルの機会を、大きく損ねてしまっていないかと危惧しています。言うまでもなく発達期の彼らは、日常の関わりから多くの事を、そして社会性を学んでいる存在に他ならないからです。

今日の療育では支援の方法に新たな問題が提起されていますが、その解決には、以前とは全く違った発想や工夫も必要になると思われます。当施設では最近新たな情報交換ツールとして「このはネット」の活用を始めましたが、このシステムを通して、多くの方の御意見も伺えられるのではと期待しています。今後も皆様と一緒にコロナ禍の療育を考え、実践していきたいと思っています。

『訓練には行きたいのですが』お子さんの感染を懸念して、受診どころか外出さえも躊躇われてこられた重症児のお母様の、外来での一言が思い出されます。コロナパンデミックのみならず、世界中に多くの困難が生じている現在、療育を求める方々は元より、全ての人々が出来るだけ早く、当たり前の日常を取り戻される事を切に祈るのみです。

追記　愛知県の指定を受け、この４月から「三河青い鳥医療的ケア児支援センター」として、相談、研修等の医療的ケア児支援を始めています。「このはネット」「医療的ケア児支援センター」の詳細は、今後ホームページ等でご案内していきます。

（表紙ページから続く）

植樹では、まだまだ細くてか弱そうな苗に、一人一人成長への願いを込めて土をかけました。

今回いただいた苗が、利用者を見守る大きな木に育ちますように。

天皇皇后両陛下が全国植樹祭の後に当センターに立ち寄られた際のニュース映像を、岡崎市立中央図書館内の「りぶら映像アーカイブス」で視聴することができます。

ビシエド選手と交流

プロ野球中日ドラゴンズの主砲　ダヤン・ビシエド選手が、昨年１１月７日、三河青い鳥医療療育センターに来てくださりました。

新型コロナウイルス感染症第５波が収束に向かい感染症状況が落ち着いてきたため、来訪を実現させることができました。

入所児童とは、代表児童とのキャッチボールや、質問に答えてもらったりしました。幼児さんがボールを持って突然前に行くというハプニングにも、ビシエド選手は笑顔で優しくていねいに対応してくれ、そんなビシエド選手との交流に児童はみんな大興奮でした。

療養介護の利用者さんとは、会議室で代表の利用者さんのみとしましたが、こちらも笑顔いっぱいの交流となりました。

２年近く途絶えていた外部の人との交流でしたが、入所児童、利用者さんの活力につながることが実感でき、早く日常が戻るようにと改めて思いました。

三河青い鳥医療的ケア児支援センター

当センターでは、令和４年度から愛知県の指定を受け、「三河青い鳥医療的ケア児支援センター」として、在宅の医療的ケア児とそのご家族が身近な地域で安心して暮らせるように、広域的・専門的な相談支援や、医療・福祉・保健・教育その他関係機関との連携・調整等を通じて、支援体制の充実を目指します。

医療的ケア児支援センターは県内に７か所設置され、当センターは、西三河南部東圏域（岡崎市、幸田町）、西三河北部圏域（豊田市、みよし市）が対象圏域です。

お気軽にご相談ください。また、関係機関連携のための活動や訪問研修等を行っていきますので、ご要望をお寄せください。

電子@連絡帳『このはネット』での、当事者、関係機関の連携促進も図っていきます。

医療的ケアとは？
　人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為
医療的ケア児とは？
　日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児童（１８歳以上の高校生等を含む。）

病棟便り

２Ａ病棟

なかなかコロナの波が引かない中、2A 病棟では利用者さんの気分が少しでも晴れるよう試行錯誤しながら病棟行事を行っています。

２月はバレンタインデー企画として、ボーリングゲームの後にチョコレートファウンテンが登場！バナナなどの食品をチョコレートの瀧の中へ GO～！顔中チョコレートだらけの方もいました。また、３月は春のドライブへ出かけました。桜の開花を心待ちにしながら桜の造花を持ってパチリ。2A 病棟の春よ、早く来い来い・・・

２Ｂ病棟

２Ｂ病棟では、引き続き感染対策をしながら季節を感じられる行事を行いました。

年が明けて２月には節分行事として「豆まき」を行いました。病棟スタッフが鬼に扮して利用者様の部屋へ行き豆を投げるという一連の流れを、スタッフと楽しく行いました。利用者様の様々な表情変化が見られた活気ある行事となりました。

季節が移り変わり、春の行事として３月にはお花見会を実施しました。まだまだ風が冷たい気候ではありましたが、利用者様と桜の壁面制作を実施していき、３月行事に花見会でも桜の壁面を背景にして写真撮影を行いました。おやつの時間には、桜風のゼリーを頂いてもらい、春を感じられた行事となりました。

これからも感染対策を徹底しながら、季節を感じて頂けるような行事を行なっていきます。

通　園

３月 25 日、講堂で通園部の卒退園式を行いました。

今年度の卒退園児は８名。残念ながら１名欠席になってしまったため、当日は７名の参加となりました。式では、一人ひとりが則竹センター長から保育証書を受け取りました。

そして、子供たちから大好きなお父さんとお母さんに「ありがとう」のプレゼントを贈りました。花のアーチをくぐって退場する姿は、一段とたくましさが感じられました。

４月からは、それぞれの道へと進んでいきます。

通園のみんなが、それぞれの場所でキラキラと輝けますよう、応援しています。

１ Ａ 病 棟

依然として新型コロナウイルスのオミクロン株が蔓延しており、社会活動が停滞傾向にあります。

そんな中２月には中国北京で冬季五輪の熱戦が繰り広げられました。

1A 病棟においても、１ 月には残雪が残る中ではありますが、感染予防と安全に留意して『青い鳥駅伝』を実施しました。

２ 月には恒例行事である節分をしました。古くから邪気を払う等と言われますが、『鬼は外。福は内。』で皆で病魔退散等をお願いできた事と思われます。

３月には当センターを卒業のお祝いをしました。

今後も１Ａ 病棟は感染拡大の予防に努めるとともに季節感のある療育活動を行う予定です。

１ Ｂ 病 棟

日増しに暖かくなり、外をお散歩して日差しや風を感じることが出来る季節となってくる中、1B 病棟では２月は節分会、３月はひな祭りを行いました。

節分会では、お面を被った鬼が現れると、泣き出してしまう子や興味深々な子、様々な反応があり、とても賑やかな会となりました。写真は鬼のお面を付けてハイポーズ！

ひな祭りでは、うれしいひなまつりを歌い、お菓子を食べてみんなの健康を願いました。桃の花の製作も、とっても上手に出来たね！

チーム で取り組む、癒し と 育ち
チームみかわ青い鳥

新規採用職員研修

新しい年度を迎え、看護師８名、保育士１名、理学療法士１名、作業療法士１名、事務１名の新規採用職員が仲間入りしました。

コロナ禍の中、ソーシャルディスタンスを図りながら、センターの特徴や一緒に働く職種、利用者の疾患や看護技術まで多岐にわたり４日間研修を行いました。

個々緊張した表情の中にも新しい職場への期待に目を輝かせていました。これからの活躍を大いに期待しています。

初期消火の訓練場面。「火事だー！！」の初々しい掛け声が印象的でした。

教えて！　被ばくの話

診療放射線技師　保母美保

患者さんからよく聞かれる質問です。

Q1.放射線検査ではどのくらい被ばくをするのでしょうか？

長さや重さにはメートルやグラムという単位があるように、放射線にも Gy（グレイ）や放射線の身体への影響の大きさを表す Sv（シーベルト）が用いられます。

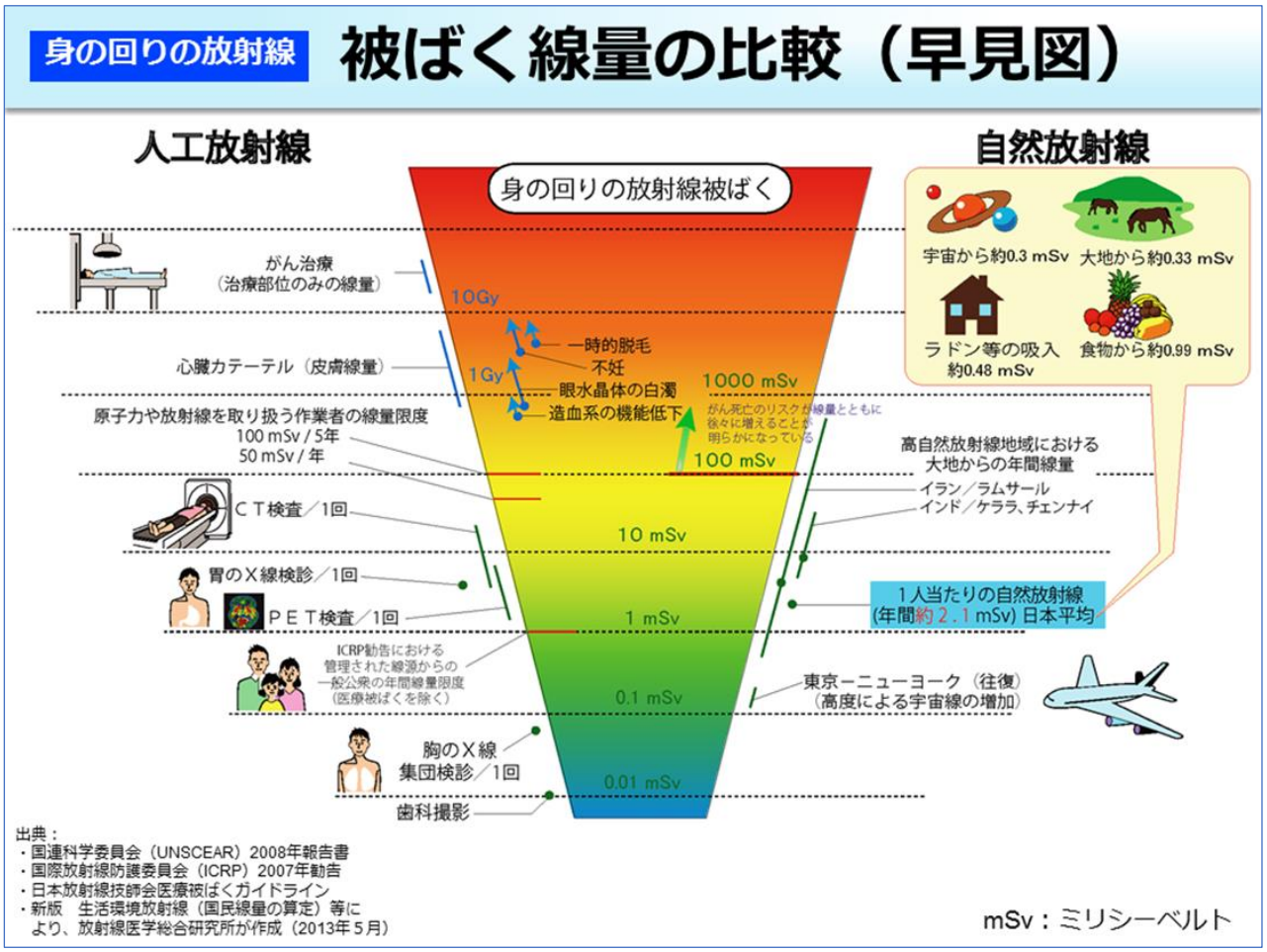
実際の被ばく線量は、体格等により数値は多少変わりますが、一例として胸部のレントゲン撮影　約 0.06mSv（ミリシーベルト）　頭部 CT 検査　約 1.8mSv　胸部 CT 検査　約 7mSv　になります。

Q2.放射線は身体に蓄積されるのですか？

医療で利用される放射線の被ばくは、光を浴びるのと同じように、身体に残ることはないので蓄積されません。

Q3.放射線を浴びて、がんにならない？

広島と長崎の原爆投下の調査研究から、100mSv 以上では、放射線被ばくによるがんの発生があります。（下の早見表）　一方、浴びた放射線が少ないと、発がんリスクの危険性も小さくなり、むしろ生活習慣（喫煙、肥満、野菜不足など）によるがんのほうが、がんの原因として多い割合を占めています。



医師自己紹介

小児科に新しく加わった医師の自己紹介です。今後よろしくお願いします。

辻健史小児科部長

2022 年４月から三河青い鳥医療療育センターに勤務しています。３月までは、岡崎市民病院に勤めていましたが、神経系の子ども達の診療に集中したい。ということで、この施設に異動してきました。

自己紹介なので、僕のプライベートもちょっとだけ。最近の趣味は、ピアノです。と言っても、全く弾けません。かわいい２人の孫娘にピアノを習わせようと、妻の両親が買ってくれたピアノを借りて、僕もピアノを習っています。体験レッスンで「ピアノは認知症予防に良いですよ～」と先生に笑顔で言われて、僕は、確かに若くはない。でも、そこまで老けて見えるのか？？？とショックを受けましたが、ピアノの先生だけに、白黒はっきりさせるのが好きなんだ。若者か？老人か？白黒つければ、僕も老人？と自分を鏡で見直したりしました。そんな出会いを経て、現在まで、その先生のレッスンを楽しく受けています。

※写真は修正無しで、最近、撮影したものです。

もちろん、仕事第一で、患者さんたちのために頑張ります。これからよろしくお願い致します。

楢原翔小児科医長

昨年 10 月から赴任いたしました。小児科医になって 10 年、専門は小児神経領域なのですが、これまでは安城更生病院など総合病院での勤務でした。神経発達症児や重症心身障害児（者）の療育についてはあらためて勉強させていただく日々を送っています。しばらくご迷惑をおかけするかと思いますが、みなさんのご指導をよろしくお願いいたします。

自己紹介といえば趣味について触れることが慣例ですが、私の場合は年数回の旅行、ときどき登山でした。しかし新型コロナウイルスの流行で、旅行どころか友人との会食も控えざるを得ないこの頃は、読書やゲームなどインドアな活動ばかりしています。お腹もちょっと出てきた気がします。

外来では療育を必要とする児のご家族から、様々なご苦労をお伺いいたします。人との関わりが少なくなり、ストレスもたまりやすいこのご時世ですから、遠慮なく相談事や悩み事、あるいは愚痴でも聞かせていただいて、お手伝いできれば幸いです。

山本理学療法士が愛知県医療功労賞受賞

このたび当センターの理学療法士である山本佳司科長が、長年にわたる地域の医療や福祉に密着した活動を評価され、第 50 回愛知県医療功労賞を受賞しました。医療功労賞は昭和４７年から続く、読売新聞社が主催する歴史ある表彰です。

山本科長は昭和 60 年から当センターの前身である第二青い鳥学園に入職し、子どもたちへの理学療法に加えて地域の学校や保育園、障害者施設での地域支援活動にも尽力し、現在も三河地域の障がいのある多くの子どもたちやそのご家族の生活に寄り添っています。

今回の受賞を受け、山本科長は「障害に負けず、リハビリを頑張っている子どもたちのサポートを続けることができてよかった。子どもたちのおかげでこの賞がいただけたと感謝しています。」と受賞を喜んでいます。

外来診療のご案内

当センターは障がい児(者)の方に特化した建物です。
車いすやストレッチャーで来られた方が安心して受診できる
ようになっていますので、お気軽にいらしてください。

令和４年５月現在

診療科目	曜日	月		火		水		木		金	
	担当医	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
整形外科	則竹	予約 (第４週休診)	再診当日受付	予約 (処置等)	予約 (処置等)	手術		予約	再診当日受付	予約 (処置等)	予約 (処置等)
	岩田	予約 (第２週休診)	再診当日受付	予約 (股関節脱臼 ２次健診)	予約 (処置等)			予約	再診当日受付 (第１週休診)	予約 (処置等)	予約 (処置等)
	杉浦	予約 (第３週休診)	再診当日受付		予約 (処置等)			予約	再診当日受付 (第３週休診)	予約 (処置等)	予約 (処置等)
	種村	予約 (第２､３､４週)			予約 (処置等)				予約 (第１､３週)	予約	予約
	吉橋										予約 (第１週)
小児科	越知	予約 再診当日受付	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約 再診当日受付	予約	
	辻			予約	予約			予約	予約		
	楢原	予約	予約			予約	予約			予約	予約
				光松　予約					奥村（月１不定期）		中森　予約
											予約
内科	羽田野				予約						
精神科	水野	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約		予約	予約
外科	加藤								予約		
泌尿器科	石川						予約 (第１､３､５週)				
耳鼻いんこう科	杉本		予約 (第２､４週)								
眼科	野々部						予約 (第４週)				
皮膚科	棚橋										予約 (第２､４週)
歯科	大岩	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約	
	山口									予約	予約

※各科初診は完全予約制です。
※都合により臨時休診になる場合もありますので、ご了承ください。
最新の診療体制は、ホームページでご覧いただけます。

休診日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12 月 29 日～翌年 1 月 3 日)
診察受付時間：午前 8 時 45 分～、午後当日受付は午後 1 時～4 時
予約の方は、予約時間の 10 分前までに受付
診察時間：午前 9 時～、午後 1 時 30 分～、(科によって一部異なります)

●予約・診察に関するお問い合わせ●

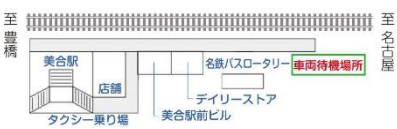
予約・問い合わせは外来直通へ。
診察予約は電話で又は来院時に受け付けます。
※緊急を要する場合はご相談ください。

外来直通　0564-64-7982

■初診予約受付　月～金 曜日　午前 10 時から午後 5 時まで
■再診予約受付　火・水・金 曜日　午前 11 時から午後 3 時まで

●送迎のご案内●

リフト付き車両で、車いすは 2 台まで対応できます。
定員は運転手を含め 10 名です。
送迎区間：(片道所要時間約 20 分)
三河青い鳥医療療育センター　⇔　美合駅
美合駅　車両待機場所：
名鉄バスロータリー敷地内の駐車場です。
※渋滞等道路状況によりお待ちいただくこともあります。



	三河青い鳥発	美合駅着	美合駅発	三河青い鳥着
1 便	8：40	9：00	9：10	9：30
2 便	9：35	9：55	10：05	10：25
3 便	11：30	11：55	10：05	10：25
4 便	12：30	12：50	13：00	13：20
5 便	13：30	13：50	14：00	14：20
6 便	14：30	14：50	15：00	15：20
7 便	15：30	15：50	16：00	16：20
8 便	17：00	17：20	17：20	17：40
9 便	17：40	18：00	18：00	18：20

※土曜日、日曜日、祝日、年末年始は運休です。

●アクセス●

自動車　東名高速道路　岡崎 IC⇒
「豊橋方面」へ国道 1 号線
信号「大平町新寺」左折
信号「岡崎市民病院東」直進⇒

電車・バス　名古屋鉄道　東岡崎駅⇒
名鉄バス
「中央総合公園」下車
徒歩 10 分⇒

愛知県三河青い鳥医療療育センター

社会福祉法人恩賜財団済生会支部愛知県済生会
愛知県三河青い鳥医療療育センター

〒444-0002　愛知県岡崎市高隆寺町小屋場９番地３
TEL 0564-64-7980（代表）　FAX 0564-64-7981
https://www.mikawa-aoitori.jp/